METROLOGIC INSTRUMENTS, INC.

MS9535 Voyager*BT*

ワイヤレス・ハンドヘルド・レーザー・スキャナ

取付およびユーザー・ガイド

所在地

米国コーポレート本社

北　米	Metrologic Instruments, Inc. 90 Coles Road Blackwood, NJ 08012-4683	Customer Service: 1-800-ID-METRO Tel: 856-228-8100 Fax: 856-228-6673 Email: info@metrologic.com Internet: www.metrologic.com

ヨーロッパ本部

ドイツ 中東およびアフリカ		Metrologic Instruments GmbH Dornierstrasse 2 82178 Puchheim b. Munich, Germany	Tel: +49 89 89019 0 Fax: +49 89 89019 200 Email: info@europe.metrologic.com Germany Email: info@de.metrologic.com
	スペイン	Metrologic Eria lbérica SL Julián Camarillo 29, D-1 Edificio Diapasón 28037 Madrid	Tel: +34 913 272 400 Fax: +34 913 273 829 Email: info@es.metrologic.com
	イタリア	Metrologic Instruments Italia srl Via Emilia 70 40064 Ozzano dell'Emilia (BO)	Tel: +39 0 51 6511978 Fax: +39 0 51 6521337 Email: info@it.metrologic.com
	フランス	Metrologic Eria France SA 69 Rue de la Belle Etoile ZI Paris Nord II, BP 50057 95947 – ROISSY CDG CEDEX	Tel: +33 (0) 1 48.63.78.78 Fax: +33 (0) 1 48.63.24.94 Email: info@fr.metrologic.com
	英　国	Metrologic Instruments UK Limited 58 Tempus Business Centre Kingsclere Road, Basingstoke Hampshire RG21 6XG	Tel: +44 (0) 1256 365900 Fax: +44 (0) 1256 365955 Email: info@uk.metrologic.com
	ロシア	Metrologic Russia Bolshaya Novodmitrovskaya 14 RU-125015 Moscow, Russia	Tel: +7 095 50 93 485 Email: info@ru.metrologic.com

アジア

	シンガポール	Metrologic Asia (Pte) Ltd No. 8 Kaki Bukit Place 4th Floor Singapore 416186	Tel: 65-6842-7155 Fax: 65-6842-7166 Email: info@sg.metrologic.com
	中　国	Metro (Suzhou) Technologies Co., Ltd. 221 Xing Hai Street Suzhou Industrial Park Suzhou, China 215021	Tel: 86-512-62572511 Fax: 86-512-62571517 Email: info@cn.metrologic.com
	日　本	Metrologic Japan Co., Ltd. Matsunoya Building, 6 Floor 3-14-8 Higashiueno Taitou-Ku, Tokyo 110-0015 Japan	Tel: 81-03-3839-8511 Fax: 81-03-3839-8519 Email: info@jp.metrologic.com

所在地

南米

ブラジル	Metrologic do Brasil Ltda. Rua da Paz 2059 CEP 04713-002 Chácara Santo Antônio São Paulo, SP, Brasil	Tel: 55-11-5182-8226 Fax: 55-11-5182-8315 Email: info@br.metrologic.com
ブラジル以外	Metrologic South America Rua da Paz 2059 CEP 04713-002 Chácara Santo Antônio São Paulo, SP, Brasil	Tel: 55-11-5182-7273 Fax: 55-11-5182-7198 Email: info@sa.metrologic.com

著作権

©2003 by Metrologic Instruments, Inc により著作権は保有されています。書評家が書評にて簡潔な一節を引用するか、もしくは 1976 年の著作権法の規定に記載されている以外は、事前の書面による承諾なしにこの著作の一部をどのような形式であれ、任意の手段によって再生、送信、保持することはできません。

本書に記載の製品名および商標名はそれぞれの会社の登録商標です。

目　次

まえがき 1
スキャナとアクセサリ 2
クイック・スタート 3
RS232 およびライトペン・スキャナを取付ける 5
キーボード・インターフェース・スキャナを取付ける 6
USB スキャナを取付ける 7
スキャナと充電器の通信を確立する 8
スキャナを充電する 9
受信機／充電器 11
充電器部品 12
スキャナ部品 13
音声表示 14
視覚表示 15
失敗モード 17
プログラム・モード 18
フラッシュ ROM ファームウェアのアップグレード 19
ラベル 20
メンテナンス 20
読取深度 21
IR 検知 22
別の Bluetooth デバイスに接続する 23
トラブルシュート・ガイド 25
設計仕様 29
デフォルト設定 30
充電器とケーブルのターミネーション
　充電器のピン配列接続 35
　充電器のコネクタ構成 36
限定保証 38
通　知 39
パテント 41
インデックス 42

まえがき

MS9535 VoyagerBT レーザー・バーコード・スキャナはメトロロジック社の Voyager シリーズの新しい製品です。VoyagerBT は、特許を取得した自動トリガーと CodeGate ボタン機能を特色とし、さらに最新の BluetoothTM ワイヤレス技術も採用しています。この技術により、充電器から 10m 以内であればスキャナを自由に動かせます。

VoyagerBT は充電器と連携して機能します。通常の読取りを行う前に、スキャナは Bluetooth アドレス・バーコードを読取って、充電器との通信を確立しなければなりません。スキャナと充電器との通信が確立されると、先に読取ったバーコードのデータがスキャナから充電器に送信され、充電器からホストに送信されます。

VoyagerBT の充電器は、スキャナのバッテリー充電器としても機能します。スキャナを充電器にセットすると、スキャナは 2.5 時間でフル充電されます。フル充電されたスキャナは、12,000 回の読取りが可能です。消費電力を節約する場合は、レーザー光線を遮断した後に CodeGate ボタンを 5 秒間押せば、スキャナをフル・スリープ・モードにできます。このモードでは、スキャナはバッテリーに充電が必要になるまでに、最大 35 時間電力を温存できます。スキャナをスリープ・モードから復帰させるには、CodeGate ボタンを押すだけでよく、スキャナは自動リセットされて通常の操作を再開できます。

VoyagerBT には、省スペースシンボル（RSS）バーコードをデコードする機能があります。VoyagerBT なら、レジ係は大きな重い品物をお客様に持ち上げてもらったり自分で持ち上げることなくバーコードを読取ることができるので、さらに便利です。VoyagerBT は、スーパーマーケット、ハイパーマーケット、ショッピング・クラブ、小売店、倉庫、製造ラインなどで使用できます。

スキャナとアクセサリ

基本キット	
部品#	説　明
MS9535-5	VoyagerBT スキャナ
70-79004	MS9535 VoyagerBT ワイヤレス・ハンドヘルド・レーザー・スキャナ
00-02544B	取付およびユーザー・ガイド*
00-02024A	MetroSelect シングル・ライン・プログラム・ガイド*
	Bluetooth プログラム補遺

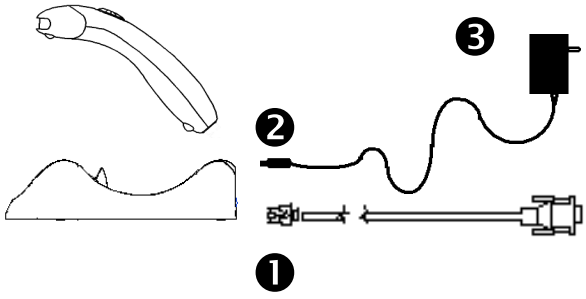
**Metrologic 社のウェブサイトからダウンロードできます—www.metrologic.com*

オプショナル・アクセサリ	
部品#	説　明
受信機／充電器	
MI9535-514	受信機／充電器、Full RS232
MI9535-541	受信機／充電器、RS232/ライトペン
MI9535-547	受信機／充電器、キーボード・インターフェース
MI9535-537	受信機／充電器、USB
AC アダプター—調整出力 5VDC@2A	
46-46911	電力供給、中国仕様
46-46912	電力供給、英国仕様
46-46913	電力供給、ヨーロッパ大陸仕様
46-46914	電力供給、オーストラリア仕様
46-46915	電力供給、米国仕様
通信ケーブル	
54-5400B-N	RS232/ライトペン・ケーブル、短いストレーン・リリーフ
57-57002A	キーボード・インターフェース・ケーブル、短いストレーン・リリーフ
52-52828A	USB ケーブル、短いストレーン・リリーフ

特定プロトコールに使用される他の項目も注文できます。追加項目を注文するにはメトロロジック・ジャパン（株）にご連絡ください。
1-800-ID-METRO or 1-800-436-3876

クイック・スタート

1. 10 ピン RJ45 オス・コネクタを充電器下部の 10 ピン・モジュラー・ジャックに接続してください。接続したら「クリック」音が聞こえます。
2. AC アダプタのプラグを充電器下部のパワー・ジャックに接続してください。
3. AC アダプタをコンセントに接続してください。充電器後部の青の LED が点灯します。



4. スキャナを持ち上げて、充電器の Bluetooth アドレス・コードを読取ってください。ブザー音が 3 回続けて鳴動します。4 秒後、充電器とスキャナの青の LED が両方とも点滅し、3 つの音を組み合わせたブザー音が鳴動します。これは、充電器とスキャナとの通信が正常に確立されたことを伝えるものです。

Bluetooth **アドレス・コード***

**これは充電器に取付けられている設定バーコードです。通常の読取りの前に、スキャナと受信機との通信を確立する必要があります。詳細については、8 ページをご覧ください。*

⚠	**注　意：** 適用するスタンダードに従順するためには、スキャナに接続される回路はすべて EN 60950 に準拠した SELV（特別低安全電圧）の必要条件を満たす必要があります。 適用する CSA C22.2 No. 950/UL 1950 とノーム EN 60950 のスタンダードに従順するためには電力供給源は限定された電力供給のパーフォーマンスの必要条件を満たす必要があります。

5. 充電器から 10m 以内にあるバーコードを読取ります。スキャナは１回ブザー音を発し、白の LED が点滅します。充電器の青の LED も 1 回点滅し、バーコードが正常に読取られて送信されたことを示します。

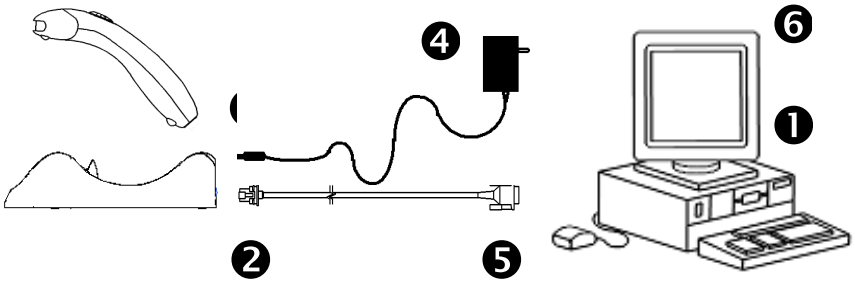
MS9535 VoyagerBT も 2 種類の動作モードが提供されています。

1. 自動トリガー・モード
   スキャナが充電器にセットされているとき、スキャナは自動トリガー・モードになっています。このモードの間は、バーコードを読取窓の前に置くとデータが自動的にデコードされ送信されます。
2. CodeGate モード
   スキャナが充電器から離れているとき、スキャナは CodeGate モードになっています。このモードの間は、CodeGate ボタンを押したときのみ、読取ったバーコード・データがデコードされ送信されます。

MS9535 が工場から出荷される時は、デフォルトでプログラム設定されています。スキャナを設定変更する場合には、MetroSelect®シングル・ライン・プログラム・ガイド（MLPN 00-02544B）か MetroSet®2 を参照してください。

RS232 およびライトペン・スキャナを取付ける

1. ホスト・システムの電源を切ってください。
2. 10 ピン RJ45 オス・コネクタを充電器下部の 10 ピン・モジュラー・ジャックに接続してください。接続したら「クリック」音が聞こえます。
3. AC アダプタのプラグを充電器下部のパワー・ジャックに差し込んでください。
4. AC アダプタをコンセントに接続して下さい。充電器後部の青の LED が点灯します。
5. RS232 ケーブルの 9 ピン D タイプ・コネクタをホスト・システムの適切な COM ポートに接続してください。
6. ホスト・システムの電源をＯＮしてください。

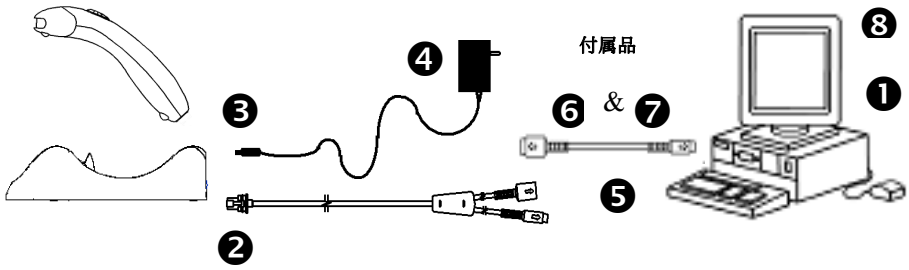


スキャナをホスト・システムのポートに正しく接続しても読取られたデータが問題なくホストに送信されるという保証はありません。スキャナはデフォルト設定で工場を出荷されています。MetroSelect® プログラム・ガイド（MLPN 00-02544B）か MetroSet®2 のヘルプ・ファイルを参照してスキャナのプログラム設定を変更してください。また、充電器とホスト・システムは同一の通信プロトコールを使っているかどうかを確かめてください。

⚠	**注　意：** 適用するスタンダードに従順するためには、スキャナに接続される回路はすべて EN 60950 に準拠した SELV（特別低安全電圧）の必要条件を満たす必要があります。 適用する CSA C22.2 No. 950/UL 1950 とノーム EN 60950 のスタンダードに従順するためには電力供給源は限定された電力供給のパーフォーマンスの必要条件を満たす必要があります。

キーボード・インターフェース・スキャナを取付ける

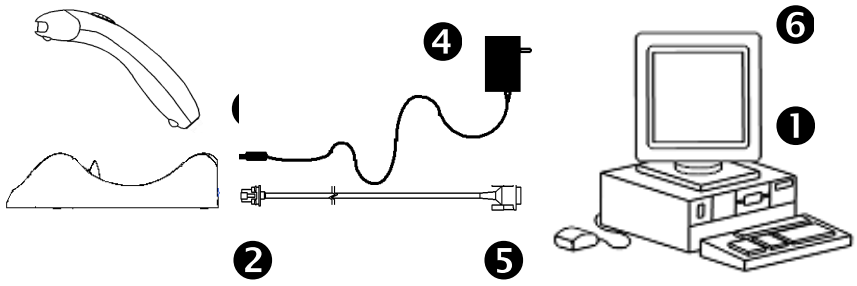
1. ホスト・システムの電源を切ってください。
2. 10 ピン RJ45 オス・コネクタを充電器下部の 10 ピン・モジュラー・ジャックに接続してください。接続したら「クリック」音が聞こえます。
3. AC アダプタのプラグを充電器下部のパワー・ジャックに差し込んでください。
4. AC アダプタをコンセントに接続して下さい。充電器後部の青の LED が点灯します。
5. キーボードを PC から抜いてください。
6. キーボード・インターフェース・ケーブルは端末に 5 ピン DIN メス・コネクタがついており、他方には 6 ピン・ミニ DIN オスのコネクタがついています。Metrologic 社は 5 ピン DIN オス・コネクタが一方に、6 ピン・ミニ DIN メス・コネクタが他方についているアダプタ・ケーブルを供給しています。必要なターミネーションに従って、アダプタ・ケーブルの適切な端末をメイン・ケーブルに接続し、キーボードと PC のキーボード・ポートの接続に必要なターミネーションはそのまま残しておきます。
7. メイン・ケーブルをキーボードとホスト・システムのキーボード・ポートに接続してください。
8. ホスト・システムの電源をＯＮしてください。



⚠	**注　意：** 適用するスタンダードに従順するためには、スキャナに接続される回路はすべて EN 60950 に準拠した SELV（特別低安全電圧）の必要条件を満たす必要があります。 適用する CSA C22.2 No. 950/UL 1950 とノーム EN 60950 のスタンダードに従順するためには電力供給源は限定された電力供給のパーフォーマンスの必要条件を満たす必要があります。

USB スキャナを取付ける

1. ホスト・システムの電源を切ってください。
2. USB B タイプ・コネクタを充電器下部のセンター・ジャックに接続してください。
3. AC アダプタのプラグを充電器下部のパワー・ジャックに差し込んでください。
4. AC アダプタをコンセントに接続して下さい。
5. USB ケーブルをホスト・システムの USB ポートに差し込んでください。
6. ホスト・システムの電源をＯＮしてください。



⚠	**注　意：** 適用するスタンダードに従順するためには、スキャナに接続される回路はすべて EN 60950 に準拠した SELV（特別低安全電圧）の必要条件を満たす必要があります。 適用する CSA C22.2 No. 950/UL 1950 とノーム EN 60950 のスタンダードに従順するためには電力供給源は限定された電力供給のパーフォーマンスの必要条件を満たす必要があります。

スキャナと充電器の通信を確立する

通常の読取りを始める前に、スキャナと充電器の Bluetooth 通信を確立する必要があります。

スキャナと充電器の通信は、充電器にある Bluetooth アドレス・コードを読取ることで確立できます。スキャナと充電器がペアになるには数秒かかります。ペアになっていることは、レーザーが作動したときの充電器の青の LED とスキャナの青の LED で確認できます。

動的ペア機能

スキャナは、どんな充電器とでも、その充電器に取付けられている Bluetooth アドレス・コードを読取れば「接続」が可能です。この機能を「動的ペア機能」といいます。

各スキャナは、最後に読取った充電器アドレスとのみ通信します。ある充電器があるスキャナとペアになった場合、別のスキャナはその接続が切れるまでその充電器とはペアになれません。スキャナと充電器との接続は、CodeGate ボタンを 3 秒間押してスリープ・モードにすることで、簡単に切断できます。

例：

スキャナ#1 は充電器#1 と通信を確立しています。スキャナ#1 で充電器#2 の Bluetooth アドレス・コードを読取ると、スキャナ#1 は充電器#1 との接続を切り、充電器#2 と接続します。このとき、スキャナ#2 で充電器#2 の Bluetooth アドレス・コードを再度読取ると、異常音が鳴り、スキャナ#2 と充電器#2 の通信が確立できなくなっていることを示します。これは、充電器#2 がスキャナ#1 とすでに接続しているからです。

RangeGate

Bluetooth 通信の動作範囲は、スキャナと充電器との間 10m です。この範囲以外で読取りを行うと、通信が途切れて青の LED が点滅します。このとき RangeGate が作動して、通信が途切れていた間に読取られたバーコードがスキャナの SRAM に蓄積されるので、データが失われることはありません。通信が再度確立されると、蓄積していたデータはホストに送信され、通常の読取りを再開できます。

スキャナを充電する

スキャナを使って作業する前に、スキャナが充電されていることを確認してください。

スキャナに充電が必要かどうかを判断する方法は、以下の通りです。

1. スキャナを操作しているとき、正常に読取りを行った後にブザー音が 2 回鳴る。これはスキャナの電力が残り少なくなっていることを示しています。
2. バーコードをスキャナの前に向けてもスキャン光が作動しなかったり、CodeGate ボタンを押してもレーザーが短い間しか発せられない。これは電力が残り少なくなったために、スキャナが自動的に通常スリープ・モードに切り替わったことを示しています。
3. CodeGate ボタンを押してもスキャン光が発せられない。

これはスキャナの電力がゼロになったことを示しています。

スキャナを充電する前に、スキャナと充電器との通信を、まず確立しておくことをお勧めします。

スキャナを充電するには、スキャナを充電器にセットします。スキャナの黄色の LED が点滅し始め、充電が始まったことを示します。

約 2.5 時間でフル充電されます。充電が完了するとスキャナの黄色の LED が一定した黄色に変わります。初めてスキャナを充電するときは、黄色の LED が一定に変わってからさらに 30 分間、スキャナを充電器にセットしておくことをお勧めします。

メトロロジック社からのお勧め：

スキャナを長期間使用しない場合は、電力消費を抑えるため、スキャナを通常スリープ・モードあるいはフル・スリープ・モードにしておくことをお勧めします。通常スリープ・モードにする場合は、Bluetooth プログラム補遺（00-02024A）の設定バーコードを読取ってください。フル・スリープ・モードにする場合は、レーザーを遮断後に CodeGate ボタンを 3 秒間押したままにします。スキャナは長いブザー音を発してフル・スリープ・モードに切り替わります。2 つのスリープ・モードからスキャナを復帰させるには、CodeGate ボタンを押します。自動的にリセットされた後、スキャナは通常の読取りが可能になります。

スキャナを充電する（続き）

リチウム電池に関する安全注意事項：

- 電池を火の中に投入したり加熱しないでください。
- 電池を火のそばや高温の場所に保管しないでください。
- 電池を金属性のものと一緒に保管したり、持ち運ばないでください。
- 電池を水につけたり濡らしたりしないでください。
- 電池の（＋）端子と（－）端子を金属で接続（ショート）しないでください。
- 電池に穴を開けたりたたいたり踏み潰したりしないでください。電池に強い衝撃やショックを与えないでください。
- 電池を分解したり改造しないでください。

⚠	注　意： 電池は正しく接続しないと爆発する危険があります。電池は製造者が推奨する電池と同一または同等のものと交換してください。使用済み電池の処置方法は、その国の所管官庁により指定された電池のリサイクル法に従ってください。

受信機／充電器

MS9535 の充電器は、受信機と充電器の両方の役目を果たします。

受信機としては、スキャナと Bluetooth 通信を確立後、スキャナが読取ったデータを受信してホストに送信します。別のホスト・インターフェースと通信するために、充電器にはさまざまな設定が用意されています。

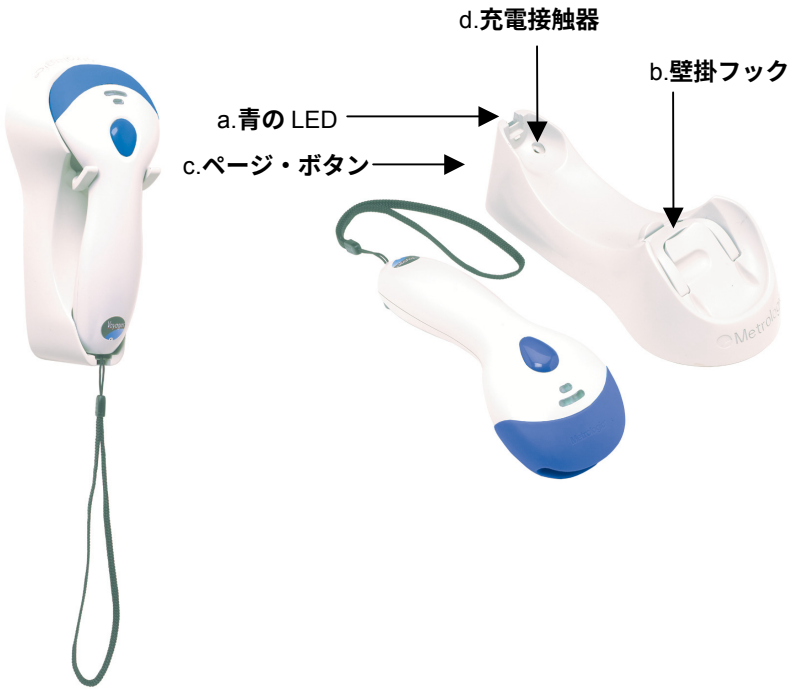
充電器	バージョン認識	通信プロトコール
MI9535-5xx	14	Full RS-232
MI9535-5xx	41	RS-232/ライトペン・エミュレーション
MI9535-5xx	47	キーボード・インターフェース、ノートブック設定および RS-232 送信／受信
MI9535-5xx	37	USB および RS-232 送信／受信
MI9535-5xx	11	IBM および RS-232 送信／受信

充電器としては、充電器はスキャナがセットされればいつでもスキャナを充電します。スキャナのバッテリーがフル充電されていても、充電器はスキャナに電力を供給し続けます。

充電専用の充電器も入手できます（MLPN #46-46772）。

充電器部品

充電器の主な部品は以下の通りです。



a)　青の LED

青の LED は充電器がスキャナと「接続」状態にあることを示します。Bluetooth 接続が切れると、青の LED が点滅します。青の LED が 1 回点滅した場合、それは充電器がスキャナからデータを受信したことを示します。

b)　壁掛フック

充電器を壁に掛ける必要がある場合、このフックでスキャナを確実に固定します。

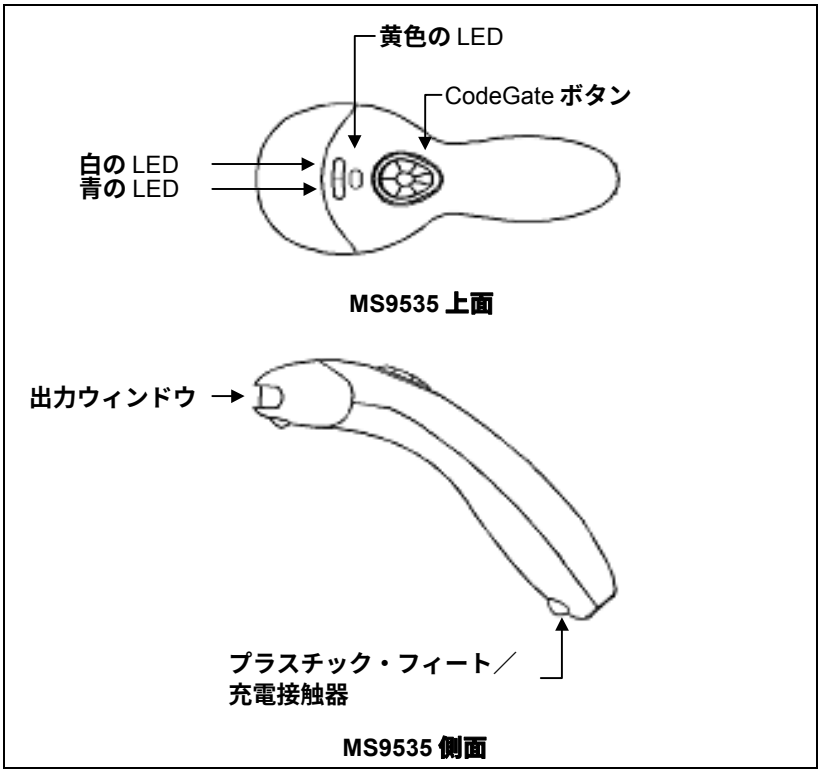
c)　ページ・ボタン

ページ・ボタンは充電器の後部にあります。充電器とペアになっているスキャナが見当たらない場合、このページ・ボタンを押せば、スキャナがブザー音を発して青と黄色の LED が交互に点滅します。スキャナの呼出しをやめるには、ページ・ボタンをもう一度押します。

d)　充電接触器

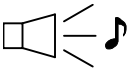
充電器は、充電接触器を通じてスキャナに電力を供給します。充電器に電力が供給されているときに、2 つの充電接触器を金属でショートさせないでください。充電器が破損します。

スキャナ部品


黄色の LED
CodeGate ボタン
白の LED
青の LED
MS9535 上面
出力ウィンドウ
プラスチック・フィート／
充電接触器
MS9535 側面

音声表示

スキャナの操作中に音声表示のフィード・バックを行ないます。これらのブザー音はスキャナの状態を示すもので、8 種類（通常の音、6 種類の交互音、およびブザー音なし）の設定が可能です。ブザー音の変更は、MetroSelect シングル・ライン・プログラム・ガイド（MLPN 00-02544B）もしくは MetroSet2 のヘルプ・ファイルを参照してください。

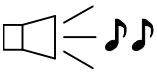


1 回のブザー音

通信確立後、スキャナを充電器に正しくセットすると、スキャナがブザー音を 1 回鳴動します。

スキャナが正常にバーコードを読取った場合、白の LED が点滅し、ブザー音が 1 回鳴ります。

CodeGate ボタンを 3 秒間押してスキャナをフル・スリープ・モードにした場合、長いブザー音が 1 回鳴ります。

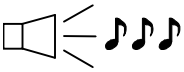


2 回のブザー音

スキャナのバッテリーの電圧が下がっている場合、バーコードを正常に読取った後にブザー音が 2 回鳴り、黄色の LED が 5 秒ごとに点滅します。

フラッシュ ROM のアップグレードが必要な場合、スキャナは 2 回ブザー音を鳴動し、青と白の LED が交互に点滅します。

スキャナが高音と低音のブザー音を鳴動し、青の LED が点滅した場合、スキャナと充電器との通信が切れたことを示します。

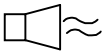


3 回のブザー音

設定モードに入った場合、白の LED が点滅し、スキャナは同時に 3 回ブザー音を鳴動します。このモードが終わると、スキャナは再度ブザー音を 3 回鳴動し、白の LED は点滅しなくなります。

Bluetooth アドレス・バーコードを読取っている場合、スキャナは 3 回ブザー音を鳴動します。2、3 秒後、スキャナの青の LED が点滅し、3 つの音調を組み合わせた音が鳴ります。これはスキャナと充電器との通信が正常に確立されたことを示します。

ワン・コード・プログラミングを使用する場合、スキャナは 3 つの音調を組み合わせた音が鳴ります（短いポーズの後に、高音と低音のブザー音）。これは 1 つの設定バーコードが正常にスキャナに設定されたことを示すものです。



異常音

これは失敗の表示です。16 ページの「失敗モード」を参照してください。

視覚表示

MS9535 のスキャナ・ヘッドの上に青色、白色、黄色の LED が 3 つ付いています。スキャナがオンの時、LED が付いたり点滅したりするのは、現在の読取状態およびスキャナの状態を表示するものです。

青色、白色、黄色の LED が OFF の時

スキャナが充電器や内蔵バッテリーからパワーを受けていない場合には LED は点灯しません。

スキャナがフル・スリープ・モードになっています。CodeGate ボタンを押すとスキャナが復帰し、青の LED が点滅します。

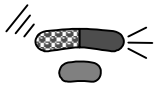
一定した黄色

通信確立後、スキャナを充電器にセットし、バッテリーがフル充電されている場合、黄色の LED が点灯したままになります。

通信が確立されていない場合、スキャナを充電器にセットすると、黄色の LED が少し遅れて点灯します。

一定した青色

レーザーが作動している時、青の LED が点灯します。レーザーがその作動を終了するまで、青の LED は点灯し続けます。



一定した青色と、白色が 1 回点滅する

スキャナがバーコードを正常に読取った場合、白の LED が点滅し、青の LED が点灯し続け、スキャナはブザー音を 1 回鳴動します。スキャナが比較的長い距離ではあるが 10 メートルの動作範囲内でバーコードを正常に読取った場合、白の LED が少し遅れて点滅する場合があります。

一定した青色と、一定した白色

スキャンが正常に読取られた後に、スキャナは充電器にデータを転送します。充電器がデータの受信準備が出来ていない場合、データ送信できるまで、あるいは通信タイムアウトが起きるまで、スキャナの白色の LED は点灯したままになっています。

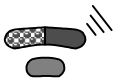
視覚表示（続き）

青色と白色が交互に点滅する場合

これはスキャナのプログラム・モードを表しています。2 回の異常音は、無効のバーコードがこのモードで読取られたことを示します。

スキャナが RangeGate 作動モードの場合、スキャナの SRAM が一杯になっていることを示します。

スキャナのフラッシュ ROM をアップグレードする必要がある場合、起動時に青と白の LED が交互に点滅し、ブザー音が 3 回鳴ります。

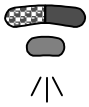


一定した白色、青色はオフ

これはレーザーがオフで、スキャナが充電器からの通信を待機していることを示します。

青色が点滅する場合

これはスキャナが充電器との通信を確立しようとしていることを示します。

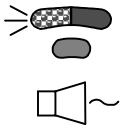


黄色が点滅する場合

スキャナが充電器にセットされている場合、これはスキャナが充電されていることを示します。

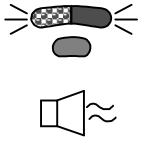
スキャナが充電器にセットされていない場合、これはスキャナの電力が残り少なくなり、充電が必要なことを示します。

失敗モード



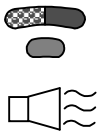
青色の点滅と 1 回の異常音

これはスキャナのレーザー・サブシステムに不具合が生じたことを示します。指定サービス・センターで修理が必要ですので、ユニットを返送してください。



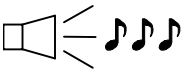
青色と白色の点滅と 2 回の異常音

これはスキャナの機械的な不具合を示します。指定サービス・センターで修理が必要ですので、ユニットを返送してください。



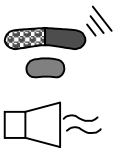
LED がすべてオフの時も、異常音

パワー・アップして、スキャナが連続的に異常音を放つ場合、これはエレクトロニクスに不具合をもたらしていることを示します。指定サービス・センターで修理が必要ですので、ユニットを返送してください。



パワー・アップの際、3 回の異常音

パワー・アップした後、スキャナが 3 回ピーというブザー音を出す場合、スキャナ設定を保持している不揮発性メモリー（NovRAM）に不具合が生じています。プログラムし直してもスキャナが応答しない場合は、指定サービス・センターで修理が必要ですのでスキャナを返送してください。



一定した白色と 2 回の異常音

スキャナはあらかじめ通信を確立せずに、バーコードをスキャンしています。

スキャナはバーコードを読取りますが、充電器はデータを転送できません。

プログラム・モード

MS9535 VoyagerBT には 2 種類のプログラム・モードがあります。

- **バーコード**

  VoyagerBT は、MetroSelect シングル・ライン・プログラム・ガイド（MLPN 00-02544B）および Bluetooth プログラム補遺（00-02024A）にあるバーコードを読取ることによってプログラム設定ができます。使い方についてはこれらのガイドを参照してください。MetroSelect シングル・ライン・プログラム・ガイドは Metrologic 社のホームページ（www.metrologic.com）から無料でダウンロードできます。

- **MetroSet2**

  Windows 上で操作できる、ユーザーに対して親切なこのプログラムは単に「ポイント・アンド・クリック」することによって必要なスキャナ・オプションを設定できます。このプログラムは Metrologic 社のホームページ（www.metrologic.com）から無料でダウンロードできます。また、メトロロジック・ジャパン（株）に電話してフロッピー・ディスクを注文することもできます。

フラッシュ ROM ファームウェアのアップグレード

Meteor プログラムは Metrologic 社のフラッシュを基盤としたスキャナの新しいラインの機能コンポネントです。このプログラムは Metrologic 社のスキャナを新しい、または特別バージョンのソフトにユーザーが迅速にアップグレードできるものです。これを使うためには Windows 95 かそれ以降のバージョンがインストールされた PC とその通信ポートが必要です。ユーザーは単にスキャナを PC の通信ポートに接続し、**Meteor** プログラムを実行すれば新しいソフトにアップグレードできます。

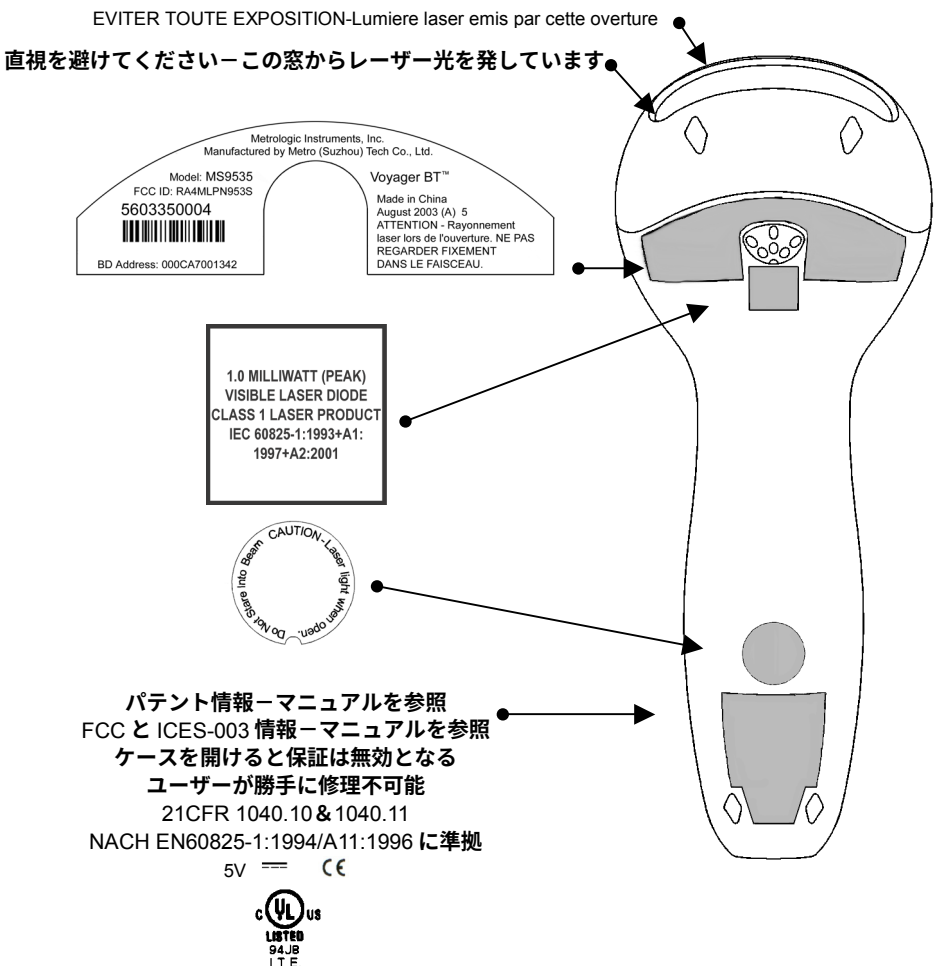
各 MS9535 とその充電器は、バージョン番号や通信プロトコールの如何に関わらず、すべてアップグレードできます。RS232/ライトペン（－41）、キーボード・インターフェース（－47）、USB（-07）および IBM 468X/469X（－11）のユニットがすべてアップグレードできます。どのユニットも、アップグレードするためには RS-232 ケーブル（MLPN 54-54000B-N）が必要です。スキャナ内のフラッシュ ROM をアップグレードする前に、スキャナと充電器との通信をまず確立しておく必要があります。

アップグレードと特別ソフト・バージョンは Metrologic 社が、「Motorola S-レコード」というファイルの名前で供給しています。これらのファイルはスキャナのアップグレードに必要なすべての情報を含んでいます。このファイルをあなたのディレクトリーに加えるか、または現在の場所から検索できるようにすればいいでしょう。

プログラムはユーザーが簡単にワン・クリックで操作できるようになっています。ユーザーはそのファイルを最初に選択します。選択して確認したら、ファイルはアップグレードの準備が完了しました。スキャナ・アップグレードのボタンを押してください。（詳細はメトロロジック・ジャパン（株）に問い合わせてください）。

ラベル

スキャナの裏側にラベルが付いています。ラベルには、モデル番号、製造日付、シリアル番号、CE および注意情報が記載されています。下記はラベルの例です。

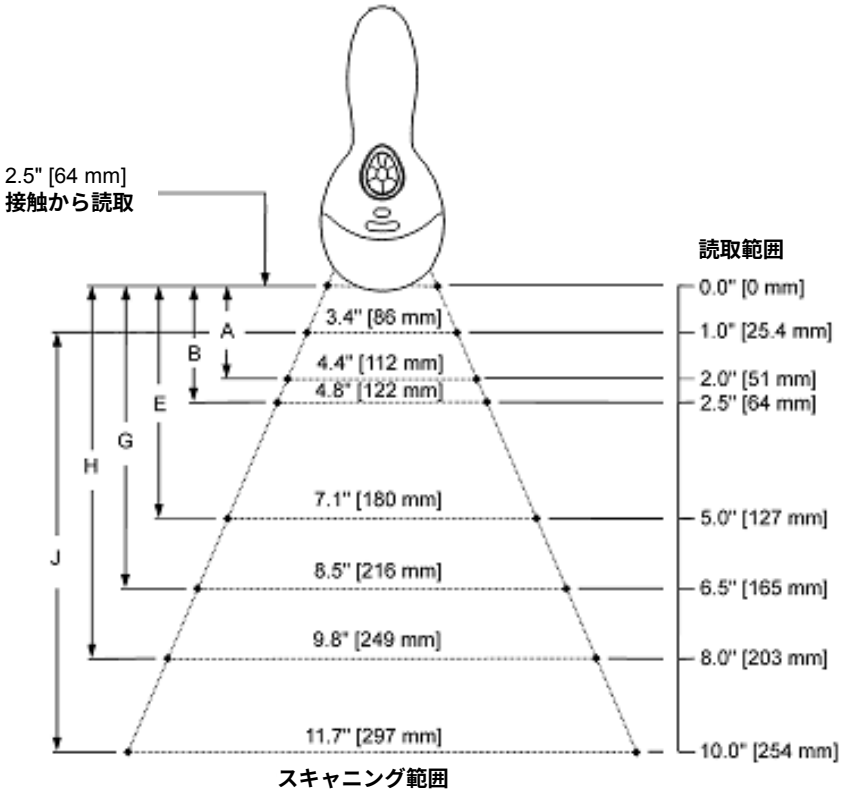


メンテナンス

汚れやごみはバーコードの正常な読取りの妨げになりますので、レーザー光ウィンドウを時々きれいに清掃する必要があります。

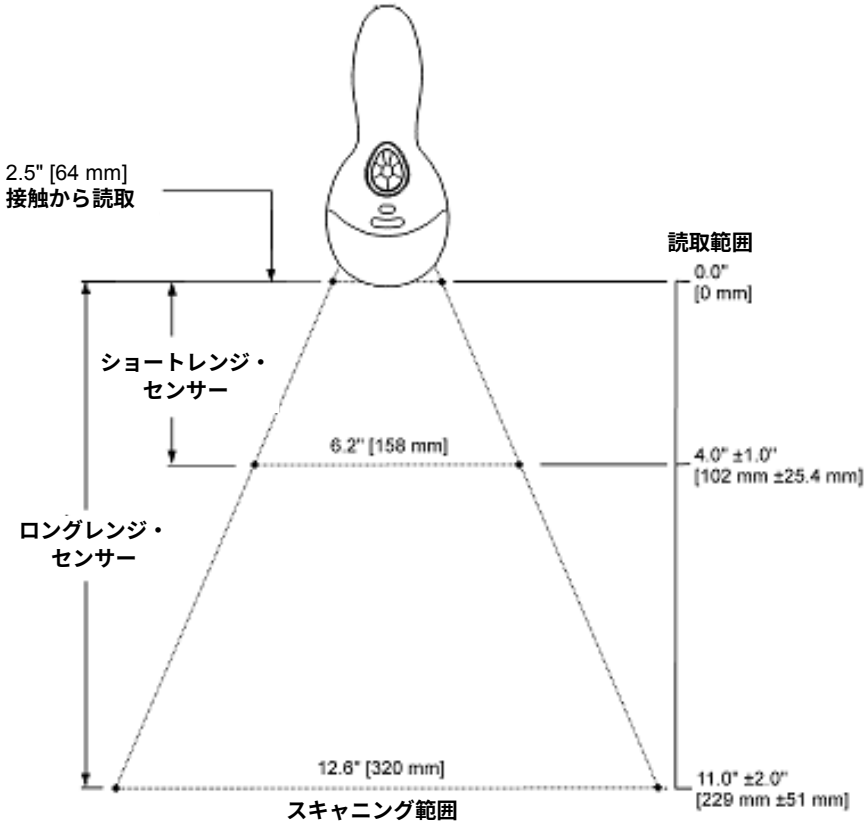
1. 無リント非研磨剤クリーニング・クロスにグラス・クリーナーをスプレーします。
2. スキャナ・ウィンドウを柔らかく拭いてください。

読取深度



最小バーコード・エレメント幅										
	A	**B**	**C**	**D**	**E**	**F**	**G**	**H**	**J**	**K**
mm	.13	.15	-	-	.19	-	.25	.33	.53	-
mils	5.2	5.7	-	-	7.5	-	10	13	21	-

IR 検知


2.5" [64 mm]
接触から読取
読取範囲
0.0"
[0 mm]
ショートレンジ・
センサー
6.2" [158 mm]
4.0" ±1.0"
[102 mm ±25.4 mm]
ロングレンジ・
センサー
12.6" [320 mm]
11.0" ±2.0"
[229 mm ±51 mm]
スキャニング範囲

別の Bluetooth デバイスに接続する

MS9535 VoyagerBT スキャナは充電器以外にも、コンピュータやプリンタ、ノート型パソコンなど別の Bluetooth 互換デバイスとも接続ができます。

スキャナと別のデバイスとの Bluetooth 通信は、システムを作動させる前に確立する必要があります。

➢ **MS9535 がクライアントとして機能する場合:**

MS9535 は別の Bluetooth デバイスと接続されると、クライアントとして機能するようデフォルト設定されています。別のデバイスの Bluetooth アドレス・コードを読取ることで、通信が確立されます。

a) Bluetooth アドレスの先頭に FNC3 が付いていて 12 桁の 16 進数（例:3000CA7FFFF99）の場合は、そのアドレス・バーコードを読取って通信を確立します。

³0000CA7FFFF99

FNC3 **付き** Bluetooth **アドレスの例**

b) Bluetooth アドレスの先頭に FNC3 が付いておらず、通常の 12 桁の 16 進数（例:000CA7000118）の場合は、まず Get Bluetooth Address コードを読取ってからそのアドレス・バーコードを読取ってください。

³000CA7FFFFFF

Get Bluetooth Address

000CA7000118

FNC3 **無し** Bluetooth **アドレスの例**

別の Bluetooth デバイスに接続する（続き）

➢ **MS9535 がサーバーとして機能する場合:**

MS9535 をサーバーとして機能させ、別の Bluetooth デバイスに検知されるようにするには、下記の Provide Service コードを読取ります。これにより別の Bluetooth デバイスがスキャナに問合せを送って通信を試みます。このバーコードを使えば、充電器を通さなくても直接 Bluetooth 可能デバイスと通信を確立できます。

³ 0 0 0 C A 7 0 0 0 0 0 0

別の Bluetooth **デバイスへの** Provide Service

トラブルシュート・ガイド

下記のガイドは参考用にリストアップしました。限定保証条件を維持するためには、メトロロジック・ジャパン（株）に連絡してください。

症　状	起こりうる原因	解決方法
スキャナが充電器にセットされた状態で LED、ブザー音、レーザー光なし	充電器からスキャナにパワーが供給されていない	AC アダプタ、コンセント、パワー・プラグ等をチェックし、ケーブルが充電器に適切に差し込まれていることを確かめる
スキャナが充電器にセットされていない状態で LED、ブザー音、レーザー光なし	内蔵バッテリーからスキャナにパワーが供給されていない	スキャナを充電器にセットしてバッテリーを充電する
最初の読取後、スキャナの白の LED がロックし、2 回の異常音	スキャナと充電器の通信が確立されていない	通常のバーコードを読取る前に、スキャナと充電器の通信を確立する
スキャナは読取るが、1 回の読取後に白の LED がロックし、2 回の異常音	スキャナと充電器の距離が 10m の動作範囲を超えている	スキャナを充電器から 10m の通信範囲内に戻す
パワーアップの際、2 回ブザー音、LED が点滅する	ROM の不具合の可能性	フラッシュ ROM のアップグレードが必要
パワーアップの際、3 回のブザー音	不揮発性 RAM の不具合	ユニットがプログラムされた設定を保持しない場合、メトロロジック・ジャパン（株）に連絡
パワーアップの際、連続異常音が出る	RAM か ROM の不具合	ユニットが機能しない場合、メトロロジック・ジャパン（株）に連絡
パワーアップの際、異常音と青色 LED が点滅	VLD の不具合	メトロロジック・ジャパン（株）に連絡
パワーアップの際、異常音と青と白の LED が点滅する	スキャナの機械的な不具合	メトロロジック・ジャパン（株）に連絡

トラブルシュート・ガイド（続き）

症　状	起こりうる原因	解決方法
ユニットは読取り通信もするが、2 回ブザー音が出る	同一シンボル・タイムアウトが短すぎる	同一シンボル・タイムアウトをより長い時間に調整する
ユニットはパワーアップするが読取らず、ブザー音も出ない	ブザー音が無効となっている。音調が選択されていない	ブザー音を有効にして、音調を選択する
ユニットはパワーアップするが、読取らずブザー音も出ない	無効になっているバーコードを読取っている	UPC/EAN、Code 39、interleaved 2 of 5、Code 93、Code 128 および Codabar がデフォルトで有効。読取るバーコード・タイプがデフォルトに選択されているかどうか確認する
ユニットはパワーアップするが、読取らずブザー音も出ない	スキャナはキャラクタ長ロック、あるいは最小の長さにプログラムされていて、読取バーコードがプログラムの基準にあっていない	読取バーコードが基準にあうかどうか確認する（UPC/EAN コード以外）。*スキャナは最小 3 キャラクタのバーコードがデフォルトになっている*
ユニットはバーコードを読取るが、1 回目の読取後にロックする。白色 LED は点灯したまま	スキャナはホストのハンドシェーク形式をサポートするように設定されており、信号を受信していない	スキャナが ACK/NAK、RTS/CTS、XON/XOFF または D/E をサポートするように設定されている場合、ホスト・ケーブルとホストが適切にハンドシェークをサポートしているか確認する
ユニットは読取りしデータを送信するが、ホストでのデータが正しくない	スキャナのデータ・フォーマットがホストの条件と合っていない	スキャナのデータ・フォーマットがホストの要求するものと一致するか確認する。スキャナが適切なホスト・ポートに接続されているか確かめる
スキャナはいくつかのバーコードではブザー音を出すが、同じコード体系でも他のバーコードにはブザー音が出ない	バーコードの印刷品質に問題がある	印刷モードをチェックする。プリンタのタイプが問題であり得る。印刷設定を変更する。例えば、econo モードあるいは高速モードへの変更をする

トラブルシュート・ガイド（続き）

症　状	起こりうる原因	解決方法
スキャナはいくつかのバーコードではブザー音を出すが、同じコード体系でも他のバーコードにはブザー音が出ない	バーコードの縦横比が公差をはずれている	印刷モードをチェックする。プリンタのタイプが問題であり得る。印刷設定を変更する。例えば、econo モードあるいは高速モードへの変更をする
スキャナはいくつかのバーコードではブザー音を出すが、同じコード体系でも他のバーコードにはブザー音が出ない	バーコードが仕様通りに印刷されていない	チェック・ディジットかキャラクタかクワイエット・ゾーンの問題であるかどうか確認する
スキャナはいくつかのバーコードではブザー音を出すが、同じコード体系でも他のバーコードにはブザー音が出ない	スキャナがこのタイプのバーコードに対して正確に設定されていない	チェック・ディジットが適切に設定されているかどうか確認する
スキャナはいくつかのバーコードではブザー音を出すが、同じコード体系でも他のバーコードにはブザー音が出ない	コード体系の最小データ長で設定されたバーコードが読取れない	最小データ長が正確に設定されているか確認する
ユニットはバーコードを読取るが、データが存在しない	正確な設定がされていない	スキャナが適切なモードに設定されていることを確かめる
ユニットはバーコードを読取るが、データが正しくない	正確な設定がされていない	適切な PC タイプ（AT、PS2 または XT）が選択されているか確かめる。正しい国コードとデータ・フォーマットを選択していることを確認する。インター・キャラクタ・ディレーを調整する
アルファベットのキャラクタが小文字になる	コンピュータが Caps Lock モードになっている	PC が Caps Lock で動作しているか検知するため、スキャナの Caps Lock ディテクト設定を有効にする

トラブルシュート・ガイド（続き）

症　状	起こりうる原因	解決方法
ユニットが 1 つのキャラクタを 2 回送信する	正確な設定がされていない	インタースキャン・コード・ディレー設定を増やしてみる。FO ブレークが送信されているか調整する。上記両方の設定で試す必要があるかもしれない
すべて動作するが、2、3 のキャラクタに問題がある	その国のキー・ルック・アップ表にその問題のあるキャラクタはサポートされていない可能性がある	スキャナを Alt モードで作動してみる
パワーアップ、読取は OK しかしホストと適切に通信しない	ホストの com ポートが作動していない。または設定が適切にされていない	スキャナおよび通信ポートのボーレートとパリティが合っているか、また、プログラムは"RS-232"データを要求しているか確かめる
パワーアップ、読取は OK しかしホストと適切に通信しない	ケーブルが適切な com ポートに接続されていない	スキャナおよび通信ポートのボーレートとパリティが合っているか、また、プログラムは"RS-232"データを要求しているか確かめる
パワーアップ、読取は OK しかしホストと適切に通信しない	ケーブルが適切な com ポートに接続されていない	スキャナおよび通信ポートのボーレートとパリティが合っているか、また、プログラムは"RS-232"データを要求しているか確かめる
ホストはデータを受信するが、データが正確でないように思える	充電器とホストが同じインターフェースで設定されていない	充電器とホストが同じインターフェースで設定されていることを確認する
キャラクタが桁落ちする	インターキャラクタ・ディレーを送信されたデータに付加する必要がある	インターキャラクタ・ディレーを送信されたデータに付加する

設計仕様

動作仕様	
光　源：	VLD 650nm±10nm
レーザー出力：	0.96mW 以下（最大時）
読取深度：	0.330mm（13mil）のバーコードをデフォルト設定で 0mm－203mm（0"-8"）
読取速度：	72±2 スキャン／秒
読取パターン：	シングル・スキャン・ライン
最小バー幅：	0.127mm（5.0mil）
デコード能力：	すべて標準のバーコードをマルチリード。（他のコード体系使用の際はメトロロジック・ジャパン（株）へ連絡ください。）
システム・インターフェース：	RS232/ライトペン、PC キーボード・インターフェース、ノートブック設定、USB（低速および最高速）、IBM
PCS 値：	最小反射率差 35%
読取桁数：	最大 80 桁データ・キャラクタ（最大の桁数はバーコードの種類と密度により変化する）
回転、ピッチ、首振り：	42°、68°、52°
ブザー音：	7 種類の音調とブザー音なし
表示（LED）デフォルト設定：	青色＝レーザーが ON。スキャン準備 OK。　白色＝正常読取　黄色＝バッテリー状態
機械的仕様	
長　さ：	198mm（7.8"）
幅：	ハンドル－45mm（1.8"）、ヘッド－78mm（3.1"）
厚　み：	40mm（1.6"）
重　量：	スキャナ:199g（7.02oz）　充電器:225g（7.94oz）
電気的仕様	
入力電圧：	スキャナ: 5.2VDC±0.25V 充電器: 5.2VDC±0.25V
電　力：	スキャナ: 動作中＝1.15W、待機中＝150mW 充電器: 0.6W
電　流：	スキャナ: 動作中＝230mA@5VDC、待機中＝30mA@5VDC 充電器: 120mA@5VDC
DC 変圧：	クラス 2; 5.2V@2A
レーザー・クラス 1：	IEC60825-1:1993+A1:1997+A2:2001 EN60825-1:1994+A11:1996+A2:2001
EMC：	FCC、ICES-003＆EN55022 クラス B
バッテリー寿命／充電時間：	1 回の充電で 12,000 スキャン／充電時間＝2.5 時間
無線通信距離：	10m（33ft）
使用環境	
温度範囲：	動作中＝0°C～40°C（32°F～104°F） 保存中＝－20°C～50°C（－4°F～122°F）
湿　度：	5%～95%相対湿度、結露なし
耐外乱光：	4842 ルクス（450 フートキャンドル）
衝撃：	1.5m（5'）落下に耐久設計
汚染物質：	空気上の汚染物質に対抗するシール密封
換　気：	不要

デフォルト設定

スキャナの多くの機能は許可・禁止プログラムが出来ます。スキャナおよび充電器は工場から出荷時にデフォルトであらかじめプログラムされていて、スキャナのデフォルト・パラメーターは下記の図表に星印（*）で表示されています。星印がデフォルト欄についていない場合、デフォルト設定はオフか、禁止となります。すべての通信がすべてのパラメーターをサポートするとは限りません。通信が次ページの図表の中でリストされたパラメーターをサポートする場合、チェック・マーク（?）で示されています。

パラメーター	DEFAULT	RS-232	LIGHT PEN	IBM 46XX	KBW	USB
通常スキャン・モード	*	✓	✓	✓	✓	✓
連続スキャン・モード		✓	✓	✓	✓	✓
点滅スキャン		✓	✓	✓	✓	✓
連続点滅スキャン		✓	✓	✓	✓	✓
特別（1 回）スキャン		✓	✓	✓	✓	✓
長距離－スタンド中	*	✓	✓	✓	✓	✓
短距離－スタンド中		✓	✓	✓	✓	✓
長距離－スタンド外	*	✓	✓	✓	✓	✓
短距離－スタンド外		✓	✓	✓	✓	✓
CodeGate 作動　スタンド中		✓	✓	✓	✓	✓
CodeGate 休止　スタンド中	*	✓	✓	✓	✓	✓
CodeGate 作動　スタンド外	*	✓	✓	✓	✓	✓
CodeGate 休止　スタンド外		✓	✓	✓	✓	✓
UPC/EAN	*	✓	✓	✓	✓	✓
Code 128	*	✓	✓	✓	✓	✓
Code 93	*	✓	✓	✓	✓	✓
Codabar	*	✓	✓	✓	✓	✓
Interleaved 2 of 5 (ITF)	*	✓	✓	✓	✓	✓
ITF の MOD 10 チェック		✓	✓	✓	✓	✓
Code 11		✓	✓	✓	✓	✓
Code 39	*	✓	✓	✓	✓	✓
Full ASCII Code 39		✓	✓	✓	✓	✓

デフォルト設定（続き）

パラメーター	DEFAULT	RS-232	LIGHT PEN	IBM 46XX	KBW	USB
Code 39 の Mod 43 チェック		✓	✓	✓	✓	✓
MSI-Plessy 10/10 チェック・ディジット		✓	✓	✓	✓	✓
MSI-Plessy Mod 10 チェック・ディジット	*	✓	✓	✓	✓	✓
Paraf サポート ITF		✓	✓	✓	✓	✓
ITF バーコード桁数	可　変	✓	✓	✓	✓	✓
最小バーコード桁数	3	✓	✓	✓	✓	✓
バーコード桁数ロック	無	✓	✓	✓	✓	✓
Code 39 の時バーが高	*		✓			✓
Code 39 の時スペースが高			✓			✓
スキャン時バーが高			✓			✓
スキャン時スペースが高			✓			✓
DTS/SIEMENS						
DTS/NIXDORF	*					
NCR F						
NCR S						
Poll ライトペン・ソース			✓			
ブザー音	通　常	✓	✓	✓	✓	✓
ブザー音／送信シーケンス	送信の前	✓	✓	✓	✓	✓
通信タイムアウト	無	✓	✓	✓	✓	✓
タイムアウト時に異常音		✓	✓	✓	✓	✓
タイムアウト時に 3 回のブザー音		✓	✓	✓	✓	✓
同一シンボル再スキャン・タイムアウト 250msecs		✓	✓	✓	✓	✓
同一シンボル再スキャン・タイムアウト 375msecs		✓	✓	✓	✓	✓
同一シンボル再スキャン・タイムアウト 500msecs		✓	✓	✓	✓	✓
同一シンボル再スキャン・タイムアウト 625msecs		✓	✓	✓	✓	✓

デフォルト設定（続き）

パラメーター	DEFAULT	RS-232	LIGHT PEN	IBM 46XX	KBW	USB
同一シンボル再スキャン・タイムアウト 750msecs		✓	✓	✓	✓	✓
同一シンボル再スキャン・タイムアウト 875msecs	*	✓	✓	✓	✓	✓
同一シンボル再スキャン・タイムアウト 1000msecs		✓	✓	✓	✓	✓
同一シンボル・タイムアウトなし		✓	✓	✓	✓	✓
無限の同一シンボル・タイムアウト		✓	✓	✓	✓	✓
1msec ステップ（max 255msecs）でインター・キャラクタ・ディレー・プログラム可能	1msecs 10msecs in KBW	✓	✓	✓	✓	✓
読取バッファ数（最大）	4	✓	✓	✓	✓	✓
UPC-A チェック・ディジット送信	*	✓	✓	✓	✓	✓
UPC-E チェック・ディジット送信		✓	✓	✓	✓	✓
Expand UPC-E		✓	✓	✓	✓	✓
UPC-E を拡張		✓	✓	✓	✓	✓
UPC-A を EAN-13 に変換		✓	✓	✓	✓	✓
UPC-E で先頭「0」の転送		✓	✓	✓	✓	✓
UPC-A ナンバー・システムの転送	*	✓	✓	✓	✓	✓
UPC-A の製造者 ID 番号の転送	*	✓	✓	✓	✓	✓
UPC-A のアイテム ID 番号の転送	*	✓	✓	✓	✓	✓
Codabar のスタート／ストップ・キャラクタの転送		✓		✓	✓	✓
CLSI 編集（許可）		✓		✓	✓	✓
Code 39 の Mod 43 チェック・ディジットの転送		✓		✓	✓	✓
Mod 10/ITF の転送		✓		✓	✓	✓
MSI-Plessy の転送		✓		✓		
パリティ	スキャナ: スペース 充電器: 無	✓		✓		
ボーレート	9600	✓				
8 データ・ビット	スキャナ:*	✓				
7 データ・ビット	充電器:*	✓				
ストップ・ビット	2	✓				

デフォルト設定（続き）

パラメーター	DEFAULT	RS-232	LIGHT PEN	IBM 46XX	KBW	USB
Sanyo ID キャラクタの転送		✓			✓	✓
Nixdorf ID		✓			✓	✓
LRC 許可		✓			✓	✓
UPC 接頭辞		✓			✓	✓
UPC 接尾辞		✓			✓	✓
キャリッジ・リターン	*	✓			✓	✓
ライン・フィード:KBW の デフォルトは禁止	*	✓			✓	✓
タブ接頭辞		✓			✓	✓
タブ接尾辞		✓			✓	✓
"DE"禁止コマンド		✓				
"FL"レーザー		✓				
許可コマンド		✓				
DTR ハンドシェーク・サポート		✓				
RTS/CTS ハンドシェーク		✓				
キャラクタ	*	✓				
RTS/CTS メッセージ		✓				
XON/XOFF ハンドシェーク		✓				
ACK/NAK		✓				
2 桁サプルメント		✓	as code 39	✓	✓	as code 39
5 桁サプルメント		✓	as code 39	✓	✓	as code 39
Bookland		✓	as code 39	✓	✓	as code 39
977（2 桁）サプルメント要求		✓	✓	✓	✓	✓
サプルメント不要	*	✓	✓	✓	✓	✓
2 桁・2 回一致	*	✓	✓	✓	✓	✓
5 桁・2 回一致		✓	✓	✓	✓	✓

デフォルト設定（続き）

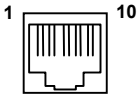
パラメーター	DEFAULT	RS-232	LIGHT PEN	IBM 46XX	KBW	USB
100msec（最大 800msec）ステップで 100msec 以内にプログラム可能なサプルメントを見つける	*	✓	✓	✓	✓	✓
クーポン Code 128		✓	as code 39	✓	✓	as code 39
† プログラム可能なコード長	7 avail	✓	✓	✓	✓	✓
† プログラム可能なコード長ロックとコード体系選択	3 avail	✓	✓	✓	✓	✓
プログラム可能な接頭キャラクタ	10 avail	✓			✓	✓
接尾キャラクタ	10 avail	✓			✓	✓
読取コード体系の接頭辞		✓			✓	✓
編　集		✓	✓	✓	✓	✓
インター・スキャン・コード・ディレー・プログラム可能（100µsec ステップ）	800 µsec				✓	
ファンクション／コントロール・キーのサポート						
5.6µsec ステップでプログラム可能な最小エレメント幅	1 msec		✓			✓
RangeGate 許可		✓	✓	✓	✓	✓
批　准		✓	✓	✓	✓	✓
MTLG チャレンジ		✓	✓	✓	✓	✓
充電許可	*	✓	✓	✓	✓	✓

† これらのオプションはお互いに独占的で、一つのオプションは他のオプションと一緒には使えません。

充電器とケーブルのターミネーション

充電器のピン配列接続

MS9535 の充電器の下部には 3 つのポートが付いています。1 つは電源用、もう 2 つはインターフェースの接続用です。10 ピン RJ45 モジュラー・ジャックの構成は、インターフェースによって異なります。



10-Pin RJ45

MI9535-541 RS232/ライトペン・エミュレーション	
ピ　ン	機　能
1	グラウンド
2	RS-232 送信　出力
3	RS-232 受信　入力
4	RTS 出力
5	CTS 入力
6	DTR 入力/LTPN ソース
7	予　約
8	LTPN データ
9	予　約
10	シールド・グラウンド

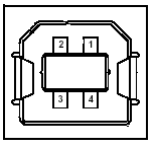
MI9535-547 キーボード・インターフェース	
ピ　ン	機　能
1	グラウンド
2	RS-232 送信　出力
3	RS-232 受信　入力
4	PC データ
5	PC クロック
6	KB クロック
7	PC+5V
8	KB データ
9	+5VDC
10	シールド・グラウンド

MI9535-537 USB	
ピ　ン	機　能
1	グラウンド
2	RS-232 送信　出力
3	RS-232 受信　入力
4	RTS 出力
5	CTS 入力
6	予　約
7	予　約
8	予　約
9	予　約

10	シールド・グラウンド

充電器とケーブルのターミネーション（続き）

USB ポート	
ピ　ン	機　能
1	VCC
2	D-
3	D+
4	グラウンド

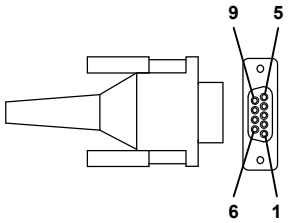


USB B タイプ・ポート

充電器のコネクタ構成（ホスト末端）

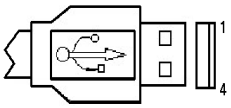
RS232/ライトペン・ケーブル
[MLPN 54-54000B-N]

PC へ 9 ピン D タイプ・メス・コネクタ	
ピ　ン	機　能
1	シールド・グラウンド
2	RS-232 送信　出力
3	RS-232 受信　入力
4	DTR 入力／ライトペン・ソース
5	パワー／シグナル・グラウンド
6	ライトペン・データ
7	CTS 入力
8	RTS 出力
9	+5VDC



9 ピン D タイプ・コネクタ

ピ　ン	機　能
1	VCC
2	D-
3	D+
4	グラウンド

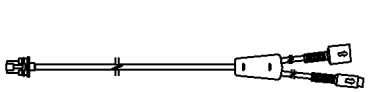


USB A タイプ・コネクタ

充電器とケーブルのターミネーション（続き）

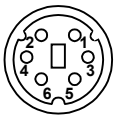
ケーブルのコネクタ構成

キーボード・インターフェース・ケーブル[MLPN 57-57002A]は、一方に 5 ピン DIN メス・コネクタが付いており、他方に 6 ピン・ミニ DIN オス・コネクタが付いています。



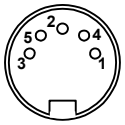
キーボード・インターフェース・ケーブル

5 ピン DIN、メス

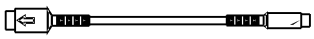


6 ピン DIN、オス

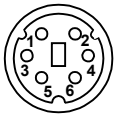
Metrologic 社は、一方に 5 ピン DIN オス・コネクタが付き、他方に 6 ピン・ミニ DIN メス・コネクタが付いているアダプタ・ケーブルを供給しています。



5 ピン DIN、オス



アダプタ・ケーブル



6 ピン・ミニ DIN、メス

必要なターミネーションに従って、アダプタ・ケーブルの適切な末端をメイン・ケーブルに接続し、キーボードと PC のキーボード・ポートに必要なターミネーションを残しておきます。ピン・アサインメントは下記の通りです。

メイン・ケーブル

5 ピン・メス DIN	
ピ　ン	機　能
1	キーボード・クロック
2	キーボード・データ
3	NC
4	パワー・グラウンド
5	+5V DC
6 ピン・オス・ミニ DIN	
ピ　ン	機　能
1	PC データ
2	NC
3	パワー・グラウンド
4	+5V DC
5	PC クロック
6	NC

アダプタ・ケーブル

5 ピン・オス DIN	
ピ　ン	機　能
1	キーボード・クロック
2	キーボード・データ
3	NC
4	パワー・グラウンド
5	+5V DC
6 ピン・メス・ミニ DIN	
ピ　ン	機　能
1	キーボード・データ
2	NC
3	パワー・グラウンド
4	+5V DC
5	キーボード・クロック
6	NC

限定保証

MS9535 スキャナは中国蘇州にある Metrologic 社で製造しています。MS9535 スキャナは製造日から 2 年間の限定保証付きで、Metrologic 社 MS9535 スキャナはすべて材料、ワークマンシップおよび設計に欠陥のないことを保証します。また、生産とラベル表示は米国連邦、州および市の法律、規則、法令に従ってすべて製造されていることを保証し、表示ラベルにそれを記載しています。

本保証書は Metrologic 社の判断で限定した修理・製品の交換を決めています。修理の必要な製品はメトロロジック・ジャパン（株）に返送してください。

本保証書で製品の修理がカバーされることが決まった場合、ディストリビューター、ディーラー／再販業者あるいは一般消費者とにかかわらず、Metrologic 社は製品の修理をするか、機能的に同等商品と交換するかを決め、修理サービス料、返送運賃代の請求なしにその商品を返却します。

Metrologic 社の独断で、製品の機械的、電気的、コンピューター・システムと併用の使用および誤用から生じた損傷、および乱用、誤用、怠慢、不適切な取付、事故等で生じた損害については、本限定保証はカバーしません。また、Metrologic 社の修理部門や公認の修理センター以外の手によって製品の内部が開けられた場合も保証書は無効となります。

本限定保証書は所有権に関することを除いて、表現されたか暗示されたかに関わらず、すべての保証または約束事に代わるものである。また、それはユニフォーム・コマーシャル・コードのもとで、あるいは、習慣または行為から生じる特別目的の市場性および適合性の保証は限定することなく明確に除外する。ここに規定される権利および救済は排他的であり、その他のいかなる権利あるいは救済に代わるものである。Metrologic 社はいかなる場合も、人および財産の間接的またはその結果としての損害、付帯的な損害または他の損害、あるいは、事業または財産への影響、あるいは、直接的または間接的に製品による他の損害または経費に対しても、この保証の中で記述された以外は責任を負わない。なお、Metrologic 社はいかなる場合も、製品の責任に対しては Metrologic 社へ支払われた製品の実際額を超えるものではない。Metrologic 社はここに記述された製品にいかなる変更をも加える権利を保有します。

北米本社

Metrologic Instruments, Inc.
90 Coles Road
Blackwood, NJ 08012-4683

顧客サービス: 1-800-ID-METRO
Tel: 856-228-8100
Fax: 856-228-6673
Email: info@metrologic.com
Website: www.metrologic.com

中　国

Metro (Suzhou) Technologies Co., Ltd
221 Xinghai Street
Suzhou Industrial Park
Suzhou, China 215021

Tel: 86-512-62572511
Fax: 86-512-62571517
Email: info@cn.metrologic.com

通　知

通　知

FCC は、この装置の使用に関する一定の要件を勧告することを要求しています。この装置はテストされ、FCC 規則のパート 15 に応じ、ディジタル装置のクラス B の範囲内に準拠するものです。これらの範囲は、装置が住宅地区で操作される場合、有害な電波障害から合理的に保護するために設けられています。この装置は無線周波数エネルギーを使用し、生成します。インストラクション・マニュアルに従って取付けされず、また、使用されない場合、無線通信に有害な電波障害を引き起こす可能性があります。また、特別な取付け方をして電波障害が起こらないという保証もありません。電波障害についてはこの装置の電源をオン・オフにすることによって確認できますが、もしこの装置がラジオやテレビの受信に有害な電波障害を引き起こす原因になった場合、ユーザーは下記の 2、3 の対策をもって、この装置の電波障害を直すことを勧めます。

- 受信アンテナを違った方向に向けたり、場所を変更してみる
- 装置と受信機の間隔をもっと開けてみる
- 受信機が接続されているアウトレットとは別のアウトレットに装置を接続してみる
- ディーラーもしくは経験豊富なラジオ／テレビの技術者に相談する

この装置は FCC 規則のパート 15 に準拠しています。動作は、以下の 2 つの条件に従っていなければなりません。(1)この装置によって、有害な干渉が発生することはない。(2)この装置は、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、すべての干渉を受け入れなければならない。この装置を使用する場合、通信のプライバシーは保証されない可能性があります。

この意図的な無線通信装置の放射出力電力は FCC の無線周波数照射線量限界値をはるかに下回るものです。内部無線通信装置は、科学産業界のコンセンサスを反映した、無線周波数安全基準と勧告で規定されているガイドラインの範囲内で動作します。この装置から照射されるエネルギーのレベルは、携帯電話などの無線装置から放射される電磁エネルギーよりかなり低いレベルとなっています。しかし無線通信装置の使用は、旅客機内など、ご使用になる状況や環境によっては制限を受ける場合があります。使用の制限が明確でない場合は、承認団体に確認してから、無線通信装置のスイッチを入れてください。

この装置に非公認に変更あるいは修正を加えることはこの装置を操作するユーザーの権限を無効にします。

通　知

このクラス B ディジタル装置はカナダの ICES-003 に準拠しています。

⚠ 注　意

使用手順の制御、調節、実行は本書に記載された以外の使い方をした場合、結果として危険なレーザー光が生じる可能性があるので、いかなる状況においても顧客はレーザー・スキャナを修理サービスすることのないようにお願いします。スキャナが作動しない場合でもレーザー光線を直接見ることは避けてください。スキャナの内部を開けて装置を覗き込むことも避けてください。そうすれば危険なレーザー光を露出する結果となり、レーザー装置を備え

た光学器具の使用は目に対する危険をつのらせます。

パテント

パテント情報

Voyager*BT* METROLOGIC 社の製品は次に記載した一つ以上の米国特許でカバーされています。

米国特許番号 4,958,984；5,081,342；5,260,553；5,340,971；5,340,973；5,424,525；5,468,951；5,484,992；5,525,789；5,528,024；5,591,953；5,616,908；5,627,359；5,661,292；5,777,315；5,789,730；5,789,731；5,811,780；5,825,012；5,828,048；5,883,375；5,886,337；5,895,907；5,925,870；5,925,871；5,939,698；6,029,894；D408,532；

物理的にユーザの手に渡った METROLOGIC 社製品に表され、また、構成されている特定の装置、回路、デバイスが通常の意図した目的のみに使用される場合、または METROLOGIC 社のライセンス権が諸条件、証書契約、制限規定に従った場合の暗示認可を除いて、上記にリストされた第三者の特許を含む METROLOGIC 社および第三者知的所有権（第三者の権利が METROLOGIC 社に合法的にライセンスを受けているか如何に拘わらず）の下で、表現、暗示、禁反言、あるいはその他いかなる条件下でもライセンス権またはサブ・ライセンス権は与えられない。

現在、他に世界的な特許出願中です。

インデックス

A

AC 入力／出力 5, 6, 7

C

CDRH 28
CE 38
CodeGate 28, 29

M

Meteor 18

P

PC 5, 28, 26, 28, 34, 35, 36
PowerLink 5, 7
PowerLink 2, 3, 5, 7, 18, 36

R

RMA 37
RS-232 ..... 2, 27, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 35

S

SELV 3, 5, 6, 7

あ

赤 LED 13, 14, 25
アクセサリ 2
アクセサリ 2
アダプタ 2
異常音 13, 30
異常音 15, 16
インターフェース 28
ウィンドウ 19
音　声 13
音　調 13, 16

か

換　気 28
キーボード・インターフェース 2
クレーム排除 37
ケーブル 2
ケーブル 27, 35, 36
光　源 28
顧客サービス 2
顧客サービス 37
コネクタ 2

さ

サービス 37
視　覚 14, 15
システム・インターフェース 28
失敗表示 13
失敗モード 13, 16
修　理 16, 37
準　拠 3, 5, 6, 7, 37, 38
承　認 19
仕　様 28
スタンド 2
操　作 13

インデックス

た

ターミネーション 6
注　意 3, 5, 6, 7, 19
通　信 5, 14, 15, 18, 27, 29
通　知 38
デコード 28
デフォルト設定 5
電　圧 28
電　流 28
トラブルシュート 25, 26, 27
トランス 28
取付け 37, 38

な

入力電圧 28

は

バーコード 13, 19
バーコード 4, 13, 14, 15, 17, 19, 20, 25, 26, 28
パワー・サプライ 3
光レベル 28
表　示
音　声 13
LED..... 13, 14, 24, 25, 28
ピン・アサインメント 36
ピン・アサインメント 36
ブザー音 4, 13, 14, 24, 25, 28, 30
部　品 2
プログラム 13,17
プログラム 13, 17, 24, 35, 36
プログラム・ガイド 2
保　証 37
ホスト 2
ホスト 5, 7, 14, 15, 24, 25, 27
ポート 6

ま

マルチリード 28
緑 LED 14, 24

や

読取深度.....20, 21

ら

ライトペン 2
ライトペン 18, 29, 30, 31, 32, 33
ラベル 19

2003 年 9 月

Printed in China

70-79004B